

代表質問



鈴木ひろ子 議員 (共産)

最大の責務は、大震災から区民の命と財産をまもること。予防第一の防災対策

が相談できる場を設置する等
きめ細やかな対応に努める。
②考えはない。③現在、整備費用は算出できていないと聞いている。④4千640枚等だ。

大企業と一体ですめる、住民追い出しの超高層ビル再開発はやめよ

①再開発事業の総事業費等は。②権利変換を希望する、希望しない、どちらにも同意できない地権者は最終的にどうなるのか。③超高層ビルの再開発はやめるべきでは。

都市環境事業部長 ①約7千65億円等だ。②3分の2以上の合意で組合が設立されると、全て組合員として扱われる。③再開発など地域のまちづくりを支援していく。

戦争する国づくり・原発再稼働など安倍自公政権の暴走にストップを

①区長は村山談話の立場に立つのか。②平和外交こそ求められているのでは。③憲法を守り、平和を発信しては。

区長 ①見解は控える。②世界の恒久平和の実現に向け努力していく。

大企業に減税、庶民に増税。くらしと経済を壊す4月から消費税増税は中止を

①価格転嫁できない実態を把握しているのか。②消費税増税に対し影響等をアンケートでつかむべきでは。③政府に中止を求めるべきでは。

拒否行為等の事例はない。②改めてアンケートを実施する考えはない。④中止を求める考えはない。

区予算は前年度比130億円増。国保料・後期高齢者医療保険料の値上げ、介護サービス切捨てやめよ

①なぜ国保料を値上げするのか。②後期高齢者医療保険料の値上げは中止すべきでは。③法で社会保障を自助・自立のための環境整備と規定したことに対する見解は。

健康福祉事業部長 ①制度持続のために不可欠であり、ご理解をお願いしている。②基金の活用等で保険料の上昇率を低く抑える措置を講じた。③自助努力をした上で、必要なら人に給付がされる環境整備が必要と考えている。

学校と地域のつながりを希薄にする学校選択制は中止し、今こそ30人学級の実現を

①学校選択制は中止すべきでは。②30人学級の実現を。教育次長 ①中止する考えはない。②学級編制の基準に基づき学校運営を進める。

東京オリンピック・パラリンピックは、被災者に受け入れられ、環境に配慮したコンパクトな大会に

①被災地復興を最優先に、コンパクトなものにしては。企画部長 ①世界の人人々が集うイベントにより、子どもたちへの夢のバトンタッチ等に向けて努力する。

一般質問



こんの孝子 議員 (公明)

防災対策について

①国は、発災直後から段階に応じた適切な対応をすること、被災者の尊厳が守られるよう避難所運営にあたる必要があるとしている。段階に応じた避難所生活のあり方について、区はできるだけ早く対策を講じては。②長期化した避難所生活における健康管理、栄養管理について、ガイドラインやマニュアルの策定を提案するが、見解を。

区長 ①避難所の運営には適時適切な対応が必要だ。これまで防災区民組織を中心とした避難所運営の支援、食料・資機材の備蓄等に取り組みしており、引き続き避難所機能の強化、関係機関との連携を図っていく。②健康と栄養管理は、避難所で配慮すべき生活環境の1つと考える。区で進める災害時業務マニュアルの策定や地域防災計画の具現化の際に検討していく。

ストーカー被害の対策について

①ストーカー被害者の安全確保のため、住民基本台帳閲覧を制限する支援措置が警察と行政の連携で行われている。個人情報取り扱いについて、全ての所管において情報の共有化を図るなど、被害者の安全確保のための対策の強化を。

健康福祉事業部長 ①定期利用は予約制とすることで介

護者の負担軽減を図る一方で、緊急事態に備え、特養ホームへの一時入所や緊急ショートステイなど特別枠を用意して、対応を図っている。今後、高齢者福祉施設の整備において、ショートステイの増床を図り、更にレスパイト事業の充実を図っていく。②従来から実施している在宅介護者宿泊研修は実施方法を改善し、在宅介護者のつどいは参加しやすくするように努める。また、交流の場については、今後の検討課題とする。

こんの孝子 議員 (公明)

(1) 費用負担・役割分担の明確化
拡大生産者責任の観点から、容器包装廃棄物のリサイクルについては再商品化だけでなく、収集・運搬、選別・圧縮等に係る経費についても、事業者が適切に負担すること。合わせて消費者、事業者及び自治体が連携してリサイクルを推進できるように、二者の役割分担を明確化すること。

(2) 多様な民間主体の回収システムの構築
拡大生産者責任の一環として、製造・販売事業者による自主回収の拡充など、事業者責任を一層強化していく取り組みを推進すること。

(3) 容器包装の発生抑制の強化
容器包装の発生抑制に繋がるよう、事業者責任の強化・明確化を図ること。

大森駅周辺等、放置自転車等の総合対策について
①今後進めるべき大森駅周辺の駐輪場整備計画への見解
②区境である駅前ロータリー等の課題をどう整理し、

解決していくのか。③水神公園に1台でも多くの駐輪台数を確保するなど、大幅な駐輪場の増設を。④自転車対策を総合的に推進するための(仮称)品川区自転車等駐車対策協議会の設置を。⑤事業実施に当たり区民との合意形成はどのように行われてきたのか。

防災まちづくり事業部長
①慢性化する放置自転車の対策として駐輪場の整備を計画的に進めている。②隣接する大田区や交通管理者と駐輪場増設に向けた協議を引き続き進めていく。③既存の水神公園駐輪場の増設を検討している。④交通安全対策会議を毎年開催し、JRを含めた関係機関と協議しており、この会議体の中で対応していく。⑤きめ細かな対応を行っており、更なる周知を心がけていく。

健康福祉事業部長 ①定期利用は予約制とすることで介